

令和7年

第57回

十日町市美術展作品募集要項

〈会期〉令和7年11月14日(金)～17日(月) 午前9時00分～午後5時00分
(最終日は午後4時まで)
〈会場〉越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館
「段十ろう」(十日町市本町1丁目上508番地2)
〈主催〉十日町市
〈主管〉十日町市教育委員会
十日町市美術展運営委員会
〈協力〉十日町市美術協会 十日町市書道協会
〈後援〉新潟日報美術振興財団 新潟日报社
十日町新聞社 十日町タイムス社
妻有新聞社 東頸新聞社
FMとおかまち
JCV 十日町情報センター

- ◆出品料 同一部門1点につき一般は1,500円(2点目1,000円)、高校生以下は500円(2点目300円)。おつりのないようにご用意ください。 ※同一部門につき、1人2点以内とします。
- ◆作品搬入出 **搬入** 11月11日(火)正午～午後7時(時間厳守)市美術展会場まで持参してください。裏面の出品申し込み票と出品票を記入(書道は釈文も)し、当日提出してください。**搬出** 11月17日(月)午後4時～6時30分市美術展会場まで「作品預り証」を持参の上引き取りに来てください。
- ◆作品指導会 11月12日(水)午後5時30分～7時 市美術展会場
- ◆審査員

<p>永吉 秀司 (新潟市在住)</p>	<p>(絵画部門審査員) 1972年愛知県名古屋生まれ。1995年東京藝術大学美術学部日本画学科卒。1997年東京藝術大学大学院絵画研究科日本画専攻 修了。1998年松柏美術館第4回 花鳥画展 優秀賞(2002年 第8回 大賞)。1999年日本美術院再興第84回 院展 初入選(以後23回入選、1回無鑑査)、日本美術院第54回 春の院展 初入選 以後毎年2008年川尻筆「筆と芸術の祭典」水墨画公募展 銀賞(平成21年 銅賞)。2019年「永吉秀司日本画展 路傍のカケラー-小さき者たちの囁き-」弥彦の丘、美術館(新潟)(2024年「永吉秀司日本画展 人ノ心ヲ伝フコト」同館)。2021年 第49回藝展 連盟大賞 受賞(一般の部)、第76回春の院展 春季展賞・足立美術館賞受賞。2022年 第77回春の院展 奨励賞 受賞。2022年 第50回藝展 50回記念賞 受賞(会員の部)。2023年「院展作家永吉秀司新令和弘長寺来迎図展の世界」展 胎内市美術館(新潟)。2024年「院展作家永吉秀司 新令和版弘長寺二十五菩薩来迎図展」、新潟市歴史博物館みなとびあ(新潟)。現在:公益財団法人日本美術院特待、地域連携教育普及プログラム委員、新潟大学教育学部准教授、県展運営委員、新潟県美術家連盟常務理事。</p>
<p>前山 忠 (上越市在住)</p>	<p>(造形部門審査員) 1944年新潟県中頸城郡三和村(現上越市)生まれ。1967年新潟大学教育学部高田分校芸能科絵画科卒。1967年新潟現代美術家集団GUN結成展(長岡文化会館、ギャラリー新宿)。1968年トリック・アンド・ヴィジョン展(東京画廊、村松画廊)。1969年ジャパン・アート・フェスティバル展(東京-パリ-ロス巡回)。1970年GUN・雪のイメージを変えるイベント(信濃川河川敷)。1978年「自然と人間の復権」第三世界と結ぶ国際展(都美術館)。2000年アジア現代美術展(新潟県民会館)。2000～2024年大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ(十日町)。2012年GUN-かつて新潟に前衛美術があった頃-展(新潟県立近代美術館)。2019年 Redicalism in the Wilderness: Japanese Artist in the Global 1960s (JAPAN SOCIETY, New York)。2024年かけがえないもの 地球・風景・環境(軽井沢ニューアートミュージアム)。</p>
<p>狩野 芳明 (燕市在住)</p>	<p>(書道部門審査員) 1960年燕市(旧吉田町)生まれ。新潟大学書道科卒。2007年芸展 新潟県知事賞を受賞。現在、新潟県書道協会事務局長、新潟県美術家連盟理事、新潟県書道教育研究会副会長。</p>
<p>山口 規子 (千葉県在住)</p>	<p>(写真部門審査員) 栃木県生まれ。東京工芸大学短期大学部写真技術科卒。文藝春秋写真部を経て独立。現在は、女性誌や旅行誌を中心に活動。透明感のある独特な画面構成に定評があり、『イスタンブールの男』で第2回東京国際写真ビエンナーレ入選、『路上の芸人たち』で第16回日本雑誌写真記者会賞受賞。写真集に『メイキング・オブ・ザ・ペニンシュラ東京』、『Real-G1/1scale GUNDAM Photographs』、『奇跡のリゾート星のや竹富島』、『柳行李』、『I was there.』、『KIKORI 木は長い夢を見る』など。その他、料理や暮らし関係の撮影書籍も多数。現在、公益財団法人日本写真家協会副会長。</p>

◆出品規格

同一部門1人2点以内、他の公募展未出品作品に限ります。(違反した場合は入賞を取り消します。)

部 門	材質・額装等	大きさ
第1部 絵 画	日本画	額縁付きに限る。
	洋画	油絵、水彩、パステル等。額縁付きに限る。
	版画	モノタイプ版、ドライマウント加工は不可。額縁付きに限る。
第2部 造 形	彫刻	常識の大きさを超えないこと
	現代美術	技法、材質、立体、平面、表現など問わない。
	工芸	染、織、焼物、つる、漆、革、竹、わら、紙工芸等
第3部 書 道	書 道	額装、枠張りまたは軸物表装のこと。釈文票は、楷書ではっきり記入することとし、ペン書き、ワープロ等も可。
第4部 写 真	写 真	額装又は、パネル表装とする。表面は、ガラス、アクリル板は使用禁止。額、パネルの裏面に展示用の紐を付けること。

額装の場合ガラスは不可(油絵のみアクリル板も不可)。額縁にはひもをつけること。

- ◆審査・展示 ①展示された作品は、会期中出品者の都合で撤去することはできません。
②審査及び展示に関して出品者が異議を申し立てることはできません。
- ◆授 賞 市展賞(賞状・副賞 30,000 円)、奨励賞(賞状・副賞 10,000 円)、新潟日報美術振興賞(賞状・賞牌)、佳作賞(賞状・副賞 3,000 円)
- ◆表 彰 式 11月16日(日)午前9時00分～ 市美術展会場
(受賞者には12日(水)午後6時～8時に電話連絡いたします。)
- ◆発 表 入賞作品は市報、市ホームページで発表します。
- ◆特別作家 ①委 嘱：県展奨励賞以上の受賞者、中央展入選者又は元市展運営委員等
②無鑑査：市展同一部門で奨励賞(奨励賞に相当する賞を含む。)以上の賞を3回以上(うち市展賞を2回以上)受賞した者※ここでの同一部門とは、絵画(日本画・洋画・版画)、造形(彫刻・現代美術・工芸)、書道、写真の8部門とする。
- ◆注 意 事 項 著作権・肖像権の問題や、盗作・類似作品などの問題が生じないように留意してください。
当該事案に関する訴訟等には主催者は一切関知しません。
出品数によって、すべての作品を展示することが出来ない場合があります。
- ◆保 管 責 任 作品の保全については最大限の努力をいたしますが、自然災害、その他不慮の事故による損害、搬出期限を過ぎたものについてはその責任を負いません。
- ◆個 人 情 報 個人情報、この美術展以外には使用しません。
市報、市ホームページで受賞者の氏名・行政区を公表することをご了承願います。

事務局 十日町市教育委員会教育文化部生涯学習課

〒948-0083 十日町市本町1丁目上508番地2 段十ろう内

電話 (025)757-5011 FAX (025)757-5010

第57回十日町市美術展出品申し込み票

部門 (○印) 1 絵画 (日本画・洋画・版画) 2 造形 (彫刻・現代美術・工芸) 3 書道 4 写真

ふりがな 氏名 (雅号)	年齢 歳	職業(学校名)	〒 — (行政区) 住所： 電 話 — — <small>※受賞の連絡などに使用する場合がございますので、平日の夜ご連絡の取れる番号にしてください。</small>
------------------------	-------------	---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

◎十日町市在住の方のみ
鑑賞者に配布する展示目録に町名を記載することを ・同意します ・同意しません

※同意・不同意の記入がない場合は市町村名のみ記載します。(十日町市以外の方は市町村名のみ記載)
※中高生は学校名を記載します。

受付No.	題 名	大 き さ <small>(出品規格に沿って記入)</small>	備 考 <small>(作品の素材。材質・技法)</small>
	(ふりがな)		
	(ふりがな)		

第57回十日町市美術展出品票

第 部	部門
受付 No.	
ふりがな	
題 名	
氏 名	
住 所	
搬出人 <small>(該当に○)</small>	本人 ・ 代理人 ・ 業者

※額裏右上に添付すること

第57回十日町市美術展出品票

第 部	部門
受付 No.	
ふりがな	
題 名	
氏 名	
住 所	
搬出人 <small>(該当に○)</small>	本人 ・ 代理人 ・ 業者

※額裏右上に添付すること

〒 〇〇〇〇

(姓・印)

キリトリせん